



2. プロジェクト協力者からの報告

2.1 大学院生の神津州佑さん

2.2 大学院生の足立浩汰朗さん



- ・手順をわかりやすく示すために動画を作成
- ・大体一つのキット作成に1時間
- ・微生物関連も行ったので器具の滅菌も入念に行った
- ・調査後の調査票記入の抜けや落葉サンプリングの不備などがあり入れ直しの連絡や集め直しの連絡も入れた

里山土壌プロジェクト(神津)



予備調査



この他にも実際に団体の方々へ訪問してキットが使えるかどうか交流を行いました

たくさんの方々にご支援、ご協力いただきました！

またご協力いただいた方々への報告会などを通して交流を行うことができました
例えばナラ枯れや鹿をはじめとした鳥獣害、放射能の影響が残る地域の方も
いらっしゃり様々な現状を知ることができました。

参加を通して

一学生として実際のデータを通じた科学的な視点はもちろんのこと、これからの里山の未来を考え、自分にできることは何か見つめ直すことができました。自分は狩猟免許を持っているのでそれを活用した有害害獣対策に参加してみようかなとか、樹木のことをもっと調べ発信していこうなど色々なことを考えました。

【土壌採取キットの作成(例:土壌採取コア)】

- ① 長い塩ビパイプを長さ5 cmになるように切る
- ② 切断面をカッター、やすりを用いて綺麗にする

約500個のコアを作成

① パイプを切る



上賀茂試験地の方と協力して
土壌採取コアを作っている様子

② 磨く



コアの切断面に
やすりをかけている様子

モデル里山としての京都大学上賀茂試験地(足立)

上賀茂試験地: 上賀茂神社によって保有されていた森林で
主に薪炭林として利用されていた

広葉樹以外にもヒノキやマツ等、他の樹種が土壤養分や有機物の分解に
与える影響を詳しく調べている

※ 全国の里山土壤とデータを比較予定

外来種マツ林



ヒノキ林



広葉樹林



上賀茂試験地の各樹種

上賀茂試験地で
土壤採取をしている様子

【感想】

皆さんが送ってくださったデータを整理する中で
色々な目的を持って里山の施業をしていることを感じた

【今後里山にどのように関わっていくか】

市民や学生、大学教員など様々な立場の人が集まり里山の在り方を
考える「里山おーぷんらぼ」に参加し、協力して炭を作る楽しさを知った

炭焼きを専門にしない方でも比較的短時間で
簡易的に炭を作ることが出来るドラム缶炭焼きを今後広めていきたい



ドラム缶による炭焼きイベントの様子(新しい里山・里海共創プロジェクトHPより)